

木造家屋建築工事におけるその他の一般動力機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	14~15	現場にて、工事中にコンクリート杭の頭をデスクグラインダーでカットしている際、グラインダーがはじかれてしまい、その勢いで添えていた左手手首を切ってしまう受傷した。	67	1~9
4	13~14	木造2階建て住宅新築工事現場で梁の上部に木材を設置する際、くぎ打ち機を誤って自分の方に発射させ、左親指にあたり切創した。	21	1~9
5	13~14	個人宅新築工事現場にて、地上から3m程の位置の外壁（サイディングボード、セメント系板、厚さ15mm）に換気扇のダクト用の穴を電気ドリルを使ってあける作業を行っていた。足場を組み、両手でドリルを持ち、外壁に穴をあけている途中で電気ドリルの回転にかなわず、ドリルを持つ手がはじかれて骨折した。	62	1~9
7	10~11	自社倉庫内に於いて、当日は現場が無かったため倉庫で作業中、木材の端材で倉庫で発生するゴミを入れるゴミ箱を作っていた時、釘打ち機を持って木材に近づいたところ、足を滑らせ体勢を崩して転倒した際誤って釘打ち機の釘が右手第2指に刺さり右手第2指、首及び右肩を捻り負傷したもの。	53	1~9
7	15~16	住宅大工工事現場に於いて、二階の天井下地を造作作業中に、釘打ち機を使用していたところ、誤って釘が跳ね返ってきて左目に当たった。しばらく様子を見ていたが痛みが引かなかった。手術が必要と言われた。	56	1~9
7	14~15	新築工事現場内において、釘打ち機を使用して、間柱、窓台、まさぐ、方位等の構造体の施行作業中、作業をしやすくする為、右手で釘打ち機を持ち、左手で右足のズボンの膝の部分を持ち上げたとき、釘打ち機のスイッチ（トリガー）を握ってし	19	1~9

		まったため、針が発射され右足内腿に刺さってしまった。		
11	14～ 15	建築現場（個人宅新築工事）で、フレーミング工事中に、外装の壁の外れた釘を電動工具を使い打ち直そうとしたら、失敗し釘が飛んで右目にぶつかり、白目部分に刺さったため、病院へ行き受診した。	45	1 ～ 9
11	11～ 12	木造戸建の新築工事現場で、1階の床下地合板を釘打ち機を使用して、土台に固定中、操作を誤って、自身の左膝に誤射した。	30	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html